



ステークホルダーとのコミュニケーション

基本的な考え方

SMBCグループでは、「お客さま」「株主・市場」「従業員」「社会・環境」といった、さまざまなステークホルダーの皆さまとの関係構築を図り、より良い価値を提供することを通じて、社会全体の持続的な発展に貢献することを目指しています。

SMBCグループのステークホルダー



ステークホルダー	コミュニケーションの例
お客さま	店頭アンケート、お客さま満足度調査、コールセンター
株主・市場	株主総会、投資家説明会、個別面談
従業員	経営層との意見交換会、従業員意識調査
社会・環境	国内外のイニシアチブへの賛同、ボランティア活動

社会・環境との対話

事業を通じた社会への貢献に加え、豊かな社会を実現するための「良き企業市民」として、社会的責任を果たすべくさまざまな社会貢献活動を行っています。

各地で行っている復興支援活動や清掃活動には、グループ各社の役職員やその家族が参加しているほか、従業員がプロボノ活動へ参加することで各種NPOと連携し、社会課題の解決に向けて取り組んでいます。



須磨海岸における清掃活動



地域交流を目的としたランニングイベント

株主・市場との対話

SMBCグループでは、「事業の発展を通じて、株主価値の持続的な増大を図る」ことを経営理念のひとつとして掲げ、企業・経営情報の適切なディスクロージャーを株主価値経営の前提として位置付けています。そのため、決算後の投資家説明会や各種カンファレンス・個別面談、個人投資家向け説明会等を通じて、経営戦略や財務状況等を的確にご理解いただけるよう努めています。こうした取組により、2019年度は、日本証券アナリスト協会主催の「証券アナリストによるディスクロージャー優良企業（銀行部門第1位）」や日本IR協議会の「IR優良企業賞」をはじめ、高いご評価をいただくことができました。

なお、新型コロナウイルスの影響下においても、2020年5月の投資家説明会でインターネットによるCEOプレゼン動画の配信と電話会議形式での質疑応答を併用する等、ディスクロージャーの質を落とさない取組を行っています。



投資家説明会におけるプレゼン動画配信

個人投資家向け説明会



第18期定時株主総会

ディスクロージャー優良企業表彰式

従業員との対話

経営陣が従業員と向き合い、相互理解を深めるためのさまざまな取組を行っています。

たとえば、新中期経営計画の策定には、グループ各社の若手従業員が参画し、SMBCグループが取り組むべき新たなビジネス領域について議論を重ね、そこで出たアイデアや意見を経営陣への提言として取りまとめました。最終的に、新中期経営計画の方針・各種施策に盛り込まれています。

また、経営陣が現場の従業員と直接コミュニケーションを図る場として、グループ各社でタウンホールミーティングを実施しています。2020年度は、新型コロナウイルスの影響を踏まえ、ビデオメッセージの形式で、経営陣から従業員に対し、経営方針や戦略に対する思いを届けました。

さらに、三井住友銀行では、国内外の全従業員を対象とするビジネスアイデアコンテスト「SMBC Pitch Contest」を開催し、従業員が経営陣に対して直接プレゼンテーションを行う機会を設けています。これまで優秀賞を受賞したビジネスアイデアから、新たな商品・サービスが生まれています。



新中期経営計画策定に向けたディスカッション

2019年度の実績

株主総会	参加者数: 478名*
機関投資家・アナリスト向け説明会	11回開催
機関投資家・アナリストとの個別面談	308回実施
証券会社主催カンファレンス	3回参加
個人投資家向け説明会	5回開催

* インターネット同時中継の視聴者371名を含む



従業員へのビデオメッセージ (SMBC日興証券)